

盲学校の幼稚部ではどんなことをしているの？

神戸市立盲学校（令和4年度）

盲学校幼稚部は、両眼の視力がおおむね0.3未満の3歳～5歳の幼児が通います。幼稚部では、遊びを通して幼児の遊びを支える幼稚園の課程に加えて、自立活動を行っています。それぞれの見え方によって単眼鏡（小学生に向けて黒板の字を読んだり、遠くのものを見たりするため）や拡大読書器などの補助具を使う練習や、点字の初期指導も行います。

その他にも着替えや持ち物の整理、排泄、食事などの基本的習慣については、一日の生活の流れの中で、細かく指導しています。主体的な遊びや体験活動を通して、幼児が健やかに育つように支援しています。

サーキット遊び



一人一人に応じて、見やすい色や印を付けるように配慮しながらバランス感覚や調整力などを養っています。経験を重ねることで、高さの違う飛び石をバランスをとって歩いたり、高い巧技台から跳び下りて、カラーマット上で両足着地したり、遠くまで跳んだりできるようになりました。

造形遊び



自分たちで育てたヒマワリを粘土や絵の具を使って作りました。真っすぐ伸びる長い莖は、毛糸の補助線を触って確かめながら丁寧に描きました。また、粘土で凹凸をつけながら自分の顔を作りました。クラフトテープで髪の毛を表現するなど、素材を工夫して作っていました。

体験的な学び 食育



毎日、食育の時間「さわって におって」をしています。献立に使われている食材の形や感触、匂いなどを体験する時間です。食材や調理器具の名前も覚えて、食育を楽しんでいました。

補助具を使って



弱視の年長児は、拡大読書器を操作して絵本を見やすい文字の大きさに拡大し、読んでいます。また、単眼鏡のピント合わせをし、黒板の文字を読む練習もしました。

交流

近隣のこども園や神戸市立幼稚園と交流をしています。

上記以外にも校外学習などを行いました。コロナ禍ではありますが、学校見学、入園についてなど、どんなことでもお気軽に神戸市立盲学校までお問い合わせください。

問い合わせ先→ ☎(078) 360-1133

神戸市立盲学校ホームページ「盲学校幼稚部」

QRコード

